



# 篠小だより

～学ぶ つながる 篠原の子～

令和5年2月28日

3月号

〒222-0022 横浜市港北区篠原東三丁目27番1号 Tel.045-401-9532 fax045-431-9538  
横浜市立篠原小学校 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinohara/>

## 「しのはライブ」

校長 松久保 伸子

毎年恒例の篠原小学校の行事「しのはライブ」を、久しぶりに体育館で「観客あり」で実施しました。これは児童会の行事で、5・6年生の運営委員会が発案し、4年生以上の代表委員会で承認された取り組みです。子どもたちが複数名で好きなことや得意なことを舞台・ビデオ発表するものです。音楽系、パフォーマンス系、演劇系など13組が出場しました。舞台発表は、きょうだい学年の2学年で鑑賞日を決めていましたので、自由参加でもお客さんは100名近くいます。それなのに堂々たる発表ぶりでした。好きなことや得意なことがあるっていいなど、心から感じました。



昨年4月に実施した横浜市学習状況調査の調査チャートが出ました。詳細は別に提示いたしますが、生活意識調査の中にちょっとうれしいものがあったので紹介します。「自分にはよいところがあると思いますか。」の質問に対して、ほぼ全学年が横浜市の平均を上回っていました。調査を受けた2年生以上の結果で( )の中は横浜市の割合になります。

- 2年 そう思う59 (52) どちらかというと思う35 (30)
- 3年 そう思う55 (47) どちらかというと思う31 (35)
- 4年 そう思う49 (46) どちらかというと思う42 (35)
- 5年 そう思う54 (42) どちらかというと思う34 (37)
- 6年 そう思う43 (42) どちらかというと思う34 (36)

篠原の子ども達すごい！とガッツポーズをしましたが、ふと思出したのが、様々な機関で行う同様の世界調査です。日本はいつもこの項目が低いのです。思春期の難しさもあると思うので、特に小学生の段階ではこの部分を最大限に伸ばしてあげたいと、常々思っています。そうすると、これだけで喜んでいるのは私の小さな考えであり、もっと篠原の子ども達一人ひとりのよいところを見つけていく必要があります。

文部科学省による「令和2年度青少年の体験活動に関する調査研究結果報告」によると、自己肯定感を高める子ども時代の特徴は①様々な体験活動をしている②異なる年齢の人とよく遊んでいる③読書を多くしている、この3つなのだそうです。いろいろな人や物とつながり自分のよいところを認識することは、自己肯定感を上げる要因の一つとなります。だからこそ本校の学校教育目標「学ぶ つながる 篠原の子」のもと、子ども達にいろいろな人や物、さらには考えに触れさせ、自らの考えや可能性を広げる教育を推し進めていく必要があります。令和4年度も保護者様・地域の皆様のご協力を得て、この目標に向かって突き進むことができました。教職員一同、厚くお礼申し上げます。あと24日、6年生は17日、子ども達と一緒に進んで参ります。

### お知らせ

正門の桜の木2本を、残念ながら伐採することになりました。レントゲン撮影をしたところ、中に空洞ができ、倒れる心配が出てきたからです。子ども達の安全にはかえられません。17日に6年生を送り出した後の予定です。